

No.	質問	回答
移転後の幼稚園について		
1	移転後の幼稚園を卒業した場合、そのまま常盤小学校に通うことになりますか。	これまでどおりお住まいの地域の通学区域の小学校に入学していただく予定です。久松幼稚園の卒園理由による常盤小学校への入学は、常盤小学校を特認校として維持していくため、現在のところ考えていません。それに関してはご納得いただいた上で入園していただく予定です。
2	幼稚園の遊び場はどこになりますか。	幼稚園の遊び場は、幼稚園棟と講堂の屋上の利用を考えています。幼稚園が行事などで校庭を利用する場合には、小学校と調整しながら利用していきます。
3	移転後の幼稚園では、今ある常盤小学校のプールを使うのですか。	小学校と幼稚園で使用する時の水深が違うため、発達に応じた活動ができるよう幼稚園棟の上に専用のプールを設ける予定です。3歳児はビニールプールでの水遊びが中心となります。幼稚園が小学校のプールを使用する場合でも非常に限られた回数になります。
4	小学校と幼稚園が同じ門を利用する場合、混乱が生じませんか。	現在小学校の登下校で使用している校門を幼稚園も利用する予定です。登下校の時間に混乱が生じないように、丁寧なシミュレーションの上、保護者の皆様にお知らせいたします。
5	小学校との連携はどのようになりますか。	小学校と幼稚園の連携の例として、5歳児が小学校1年生の授業や給食の様子を見学する機会などを設けています。そのような形であまり負担をかけずに児童・幼児が交流できる活動が多くあることから、計画的にお互い意味のある活動にできるよう、引き続き検討していきます。
6	移転後の幼稚園における地域行事への参加などはどのようになりますか。	地域行事への参加にあたっては、教育活動の一つとして参加する場合と、教育活動ではなくご家庭に帰ってから個人で参加する場合があります。どのように地域の方と連携していくかは、一つの課題として引き続き検討していきます。
7	通園バスには保護者も乗車できますか。自転車で通園することはできますか。	通園バスに保護者の方が乗ることはできませんので、安全確保のため添乗員を配置いたします。自転車については、全員分の自転車を駐輪する場所がないことと、現在区立幼稚園では原則として自転車通園をお断りしていますので、同様に禁止させていただきたいと考えています。
8	久松幼稚園が現在の場所に戻ることはありますか。	久松小学校の児童数が減少したタイミングで久松小学校内に、幼稚園を戻すことを考えています。また、今後の行政ニーズのなかで、久松地域周辺に新たに公共施設を整備することになった場合には、幼稚園の再整備を検討することがあるかもしれません。ただし、幼稚園は園舎に続いた園庭を地上に確保しなければならぬため、非常にハードルが高く、本区のような都心区のなかでは、小学校などに併設する以外設置が難しい施設であると思っています。なお、児童数がピークアウトするタイミングが明確でないため、具体的な時期についてはお約束ができません。

No.	質問	回答
9	保育園と連携することで、久松地域に幼稚園を戻す時期を早めることはできないのですか。	就学前の子どもの居場所については、本区全体で議論する必要があります。教育委員会で対応できる部分については、一定の裁量をもって、子どもの教育を実施していくなかで創意工夫を加えることができます。しかし、その範囲を超える部分に関しては、本区全体の行政課題に位置付ける必要があるため久松地域に幼稚園を戻すことはすぐにできないと考えていますが、引き続き本区全体として議論していく方針です。
工事などの影響について		
1	常盤小学校の工事によって、教育活動にどのような影響がありますか。	現在の常盤小学校で行っている教育活動が確実にできるよう進めていきます。教育委員会でも学校と協議しながら、何が難しく代替するのか、どこが教育的な効果として薄まってしまう部分であり代替が必要なのか考えていきます。常盤小学校の児童が体力向上面に関してしっかりと取り組んでいけること、また怪我の防止も含めて休み時間の活動も児童が楽しめる環境であることが必要だと思しますので、保健・体育的な面も含め学校と検討していきます。 なお、工事全体の工程や内容が明確になった段階で、保護者の皆様にお知らせする予定です。
2	工事期間中、常盤小学校の校庭はどの程度使用することができますか。	工事期間中の校庭については、できる限りスペースを縮めない形で工事エリアを最小限に留めていきたいと考えています。しかしながら、建築資材の置場や耐震工事などに伴い工事区画を設置する必要があります。このため、別館等の活用も検討し、児童が普段いるスペースを縮めないよう検討していく考えです。
3	校庭に使用できない部分がある場合、体育の授業はどのように実施されますか。	例えば体育の学習では、スペースが必要ない形、リレーであればバトンリレーやカーブを走るところを学習するというように、部分的に切り分けることで学習内容や人数を工夫しながら進めていくことができます。また、校庭で行うことを体育館で代替して行ったり、他校の体育館や校庭を活用するなど、児童が教育効果、運動的な効果や運動として身に付けたいものが身に付けられるような形で、工夫していくことができると考えています。
4	常盤小学校の工事期間は周年行事に被りますか。	2022(令和4)年には周年行事があるため、工事は、周年行事後に開始したいと考えています。本工事は、幼稚園の移転整備とともに、常盤小学校をこれからも長く使用することや地域の防災拠点としていくため耐震や内部改修工事を行うもので、本校において緊急性の高い不可欠な工事として捉えています。
5	工事にあたり、幼稚園の設備について意見を出すとはできますか。	詳細な工事内容については、学校管理者である校長を中心に各教員からの意見を踏まえ、現在検討しています。今回の説明会で頂いた意見についても検討させていただき、取り入れられるものは反映していきたいと考えています。

No.	質問	回答
6	常盤小学校の工事でアスベストが飛散する恐れはありますか。	アスベストについては、今回の設計の中で有無を調査しています。万が一発見された場合、鉄骨耐火被覆材のような飛散の恐れがある場合は除去または封じ込めの措置を行い、それ以外で飛散の恐れが無い場合は使用状況に応じて、除去または残置することとなります。また、工事中にほこりなどで児童の健康被害の恐れがあれば、工事部分の区画や工事時間の調整を図るなどの対応を行うよう考えています(後日、調査報告でアスベストの使用が無いことが確認されました)。
代替案などについて		
1	今回の計画は既に決定したものですか。	本方針は教育委員会で決定した内容をお知らせしています。工事予算など最終的に議会への説明や議決が必要な事項についての決定はそのタイミングになります。なお、通園に関する部分など、詳細な点については、皆様の意見を参考にして、対応できるところは対応していきたいと考えています。
2	他の地域の幼稚園をご案内し、新園舎の規模を小さくすることはできませんか。	他の地域を含め区全体では、幼稚園の入園定員に余裕があります。しかしながら、日本橋地域から他地域の各幼稚園に分散して通うことは難しく、地域の子どもたちをある程度まとまった形で入園できる場所を確保する必要があると考えています。
3	泰明幼稚園を3年保育にすることで、入園希望者は分散しませんか。	泰明幼稚園で3年保育を希望する声があることは認識しており、校園長先生からもお話を伺っています。しかし、通園区域に在住する幼児が少ないことから費用対効果も含めて検討する必要がある、来年や再来年からすぐに学級を増やすことはできないと考えています。就学前の子どもの居場所に関してより広く議論してほしいというご意見については承知していますので、教育委員会としても引き続き務めていきたいと思っております。
4	幼稚園への入園を希望する方を全員入園させる必要はあるのですか。	幼稚園にも定員があるため、晴海幼稚園のように、希望者数が定員超過し抽選により近隣の幼稚園をご案内させていただいたり、待機して待っていただいたりしていることがあります。できる限り区立幼稚園を希望される方が入園できるよう対応していきたいと考えています。
5	他の自治体の幼稚園にご案内することで対応できませんか。	他の自治体と共同でできるのかということは検討していませんが、本区のなかで対応できるよう考えています。
6	保育園にご案内することで対応できませんか。	保育園は保育を必要としている子どもを受け入れている施設です。保育園も定員に余裕があるわけではないため、保育園をご案内して対応することは考えていません。

No.	質問	回答
7	常盤小学校を特認校でなくすることで調整はできませんか。また、通学区域を変更することで対応できませんか。	特認校制度は、本区の教育環境のなかで一定の役割を果たしており、簡単に常盤小学校を特認校制度から外すことはできないと考えています。 また、児童推計から、久松小学校の普通教室を増やすことで、児童数の増加に対応できると考え、通学区域を変更しない判断をしました。しかしながら、児童数が想定以上に増えるのではないかとご意見をいただいております。それが見込まれる場合には通学区域の再編を考える必要があります。今回学区の再編ができないと判断した理由は、日本橋地域の1・2校だけでなく、城東小学校や明正小学校といった隣接する地域の学区を含めて再編することになるため、早い段階から時間をかけて議論し、個別に調整していく必要があると考えているためです。
8	他の地域の小学校をご案内し、久松小学校の児童数を減らすことで対応できませんか。	教育委員会として、学校施設を平準化して使用する必要があることは課題として認識しています。教室が空いている小学校に児童を誘導する方法もあり、特認校制度はそういった役割を一定程度果たしていると考えています。しかしながら、その対象は児童や保護者の方であること、地域の方が様々な形で支えて下さっている結果として学校運営が成り立っていることから、一概に合理性だけで進めることはできません。無駄に感じられるかもしれませんが、久松地域の子どもとして地域の方が可愛がって下さっている子どもをどうするのかという案には、地域の方の思いに応える部分が必要だと考えています。そのなかで、できるだけ本区の行政サービス全体への影響がないよう、今回の方針を考えています。
9	民間の空きビルを活用して保育スペースを設置することで対応できませんか。	民間の空きビルを活用してできるサービスとして、施設に入れなかった子どもを必要な時間帯だけ預かるという形であれば、ニーズに応じてそういう施設が造られることはあると思います。公立幼稚園を運営する自治体が少なくなる中、本区では約1,500人の幼稚園児がいます。23区で公立幼稚園の園児数が1,000人を超えるところは2,3区のみです。本区では歴史的な成り立ちから公立幼稚園を運営する環境が維持されていますので、今後の幼稚園需要の動向は想定できませんが、一定程度需要があるのであれば、できる限り現在の環境を守りながら幼稚園教育を提供していきたいと考えています。
10	保育園への入園を希望する方もいるので、保育園を造ることで対応することはできないのですか。	本区全体として保育需要に対してどのように対応するのか、幼稚園をどのように位置付けていくのかについては、幼児教育・保育の無償化が始まっている中で今後検討する必要がありますが、教育委員会としては、幼稚園の需要がある限りは、幼小併設の考え方に基づいて幼稚園教育を維持していきたいと考えています。
園児推計・児童推計などについて		
1	日本橋幼稚園と有馬幼稚園の今後の園児数の推計を教えてください。	令和7年度までの推計では、日本橋幼稚園は120名程度で、有馬幼稚園は170～180名程度で推移していくと想定しています。

No.	質問	回答
移転方法などについて		
1	一括で移転する案が出た経緯を教えてください。	当初、4月に区議会を報告するにあたって、教育委員会としては入園した場所で幼稚園を卒園することが保護者の皆様の希望に沿う形ではないかと考えていました。その後、説明会でのご意見や問い合わせなどで、兄妹関係で同じ園舎へ通園することに関する内容が多かったことから、そのことをきっかけとして改めて案を検討しました。
2	一括で移転する場合、転園にあたって子どもたちに影響はないのですか。	幼児が新しい環境に慣れて、自分の力を発揮できるようにすることがとても重要だと考えています。このため、移転後の幼稚園では、教員が新園舎に行くなどして幼児がしっかりと「次はこの場所で生活するんだ」というイメージを持てる年間計画を立てるとともに、新しい環境に慣れることができる力をつけていきたいと考えています。また、3・4・5歳と年齢は小さいものの、幼児は順序立てて経験を積めば環境に慣れていくことができます。移転当初は戸惑いや不安があり、小学校に上がる時と同じく、新たな環境に慣れるまでには時間がかかる可能性があります。幼児ができるだけ短い時間で環境に慣れるよう、教育内容の計画を立てていきたいと考えています。幼児が「自分たちの幼稚園だ」と思えるような環境で教育活動ができるよう、教育委員会として取り組んでいきます。
説明方法などについて		
1	未就園児にはどのように周知しますか。	現在はホームページに掲載しているだけのため、今後さらに周知をしていく予定です。(9月上旬に、久松幼稚園と常盤幼稚園の通園区域に在住の未就園児宛てにお知らせを郵送しました。今後も、毎年新たに対象となった方に対して周知をしていきます。)
2	既に決定した案を説明するというやり方は乱暴に感じます。	本区では地域の皆様から校・園に非常に愛情を注いでいただいております。様々なイベントで児童・幼児を楽しませようと、喜んでご協力いただいております。そのなかで、久松幼稚園が地域を超えて移転することに対して地域の皆様にご納得いただくことの難しさを感じています。他にもお知らせする方法はあったのかもしれませんが、教育委員会としてどのようにご説明できるか検討するにあたり、無策のまま皆様にお示しすることはできないことから、どういった対応策があるのか検討してまいりました。その結果、代替案が他にない状況になりましたが、これまで検討してきた内容やその経過を含めてご説明したところです。賛成・反対、様々なご意見があると思いますので、こうした説明会を重ねていくなかでご納得いただきたいと考えています。
3	常盤地域と久松地域で合同の説明会を開催してください。	地域の方に向けた説明会については、どの地域の方でも参加できるように周知していきます(実際の説明会でも地域を問わずご参加いただきました)。

No.	質問	回答
4	久松小学校・幼稚園の保護者への説明会ではどのような意見が出ましたか。	久松小学校・幼稚園の保護者の方からは、移転後の久松幼稚園に通うことについて具体的なご意見が多数あり、移転方法の変更はそういったご意見の内容を踏まえたものです。それ以外にも、「久松幼稚園が移転して現在の場所になくることが寂しい」というご意見や「2年保育にしてでも現在の場所に残せないか」、「近隣の空いている場所に移転できないか」といったご意見がありました。また、元々は順次移転の方針でご説明していましたので、「兄妹で別々の場所に通わせなければいけない」というご意見や、「年長さんが一学年だけ現在の場所に残る際の他学年交流に不安がある」というご意見もありました。
5	今後も直接説明する機会を重ねてもらえませんか。	移転にあたり、保護者の方はもちろん、PTA、校友会、町会、様々な方々が色々な思いをお持ちになっていることは重々承知しています。皆さんにご納得いただけるよう説明会に臨んでいますが、全ての方に参加していただくことが難しくもあり、開催する説明会のなかでは可能な限り丁寧に説明していきたいと考えています。我々の把握できていないところでまだまだ地域の方が声を上げていらっしゃる、納得していないというお声があればお知らせいただき、お訪ねしてご説明させていただきたいと考えています。
6	今回の移転については、区議会議員の方や区長も賛成しているのですか。	大賛成で「どうぞどうぞ」とおっしゃる方はどなたもいらっしゃいません。教育委員会でも、小学校が35人学級化されることは考えておりますが、そのスピードが予想を超えるものでした。そのなかで、今回の対応をするにあたり、関係する区議会議員の方や区長に対して説明し、「丁寧に説明してくるように」と言われながら、本日の説明会を迎えています。
7	幼稚園ではなく、保育園を造ることに関する検討を教えてください。	本区全体として子どもの数が増えていることから、小学校35人学級化により、今後10年間に7校で、余剰スペースを改修して教室とする対応の必要が出てきています。久松小学校では、それでも必要な教室数が確保できないことから、どのように小学校内にスペースを確保するのかという検討をすることになりました。久松幼稚園の存続や別の施設を建設するための議論を他部署と重ねる時間が非常に限られていたため、教育委員会で所管する施設を有効に活用するため、今回の案を決定いたしました。
8	保護者の意見はどの程度取り入れていただけますか。	様々なご意見をいただくなかで、常盤小学校、久松小学校・幼稚園に通う児童・幼児の保護者の皆様の不安を解消することに繋がることに関しては、多くのご意見を検討して取り入れていきたいと考えています。
その他		
1	大きな工事があるのであれば、入学案内で知らせてください。	教育環境へ影響する恐れがある工事がある場合は、予め小学校の入学案内に掲載していきたいと考えています(令和4年度版から記載しました)。